

校長室から アッサラームアレイコム！

No.2 H27.6.1
文責 井手



◇「日本人を意識して！」

5月14日中部電力さんや丸紅さんのご支援ご協力で「メサイド発電所」に現地理解校外学習として全校児童生徒で出かけることができました。5台のバスで1時間ほどかけて発電所に到着しましたが、体調不良を訴える子どももおらず、無事到着いたしました。昼食を用意され、様々な所にお心遣いされていた中、この現地理解校外学習が実現したことに、まず関係者の皆様に心からお礼申し上げます。そんな中みんな、やや緊張した様子でしたが、発電所の方々のお話を真面目に聞いていました。見学中もとてもすばらしい行動や挨拶ができていて、会社の方々が本当にビックリされていました。

その数日前だったと思いますが、私の講話で「日本人をととても意識した」時のことを話しました。数十年も前のことで、私がドイツに旅行したときの話です。

モーゼル川沿いにある小さな村のとってもやさしい老夫婦のお宅に泊まったときのことで。次の朝、宿泊費を支払い、車に荷物を乗せほっとした顔で、さようならを告げお別れを言いました。お二人は満面の笑顔で送ってくれました。忘れ物はないかなどやさしく確認していただき、車に乗って次の目的地に向かいました。丁度30キロくらい運転した頃だったと思います、昨日飲んだジュースの代金を支払うのを忘れていたことを思い出しました。今の価値で80円くらいだったと思います。老夫婦のお二人が「日本人はとってもすばらしい、特に人間性や道徳心はいつも感心させられます。ドイツ人も似たところがあるのですよ。」と前の日に私に親しみを込めて仰っていた、その言葉が頭からはなれませんでした。「戻ろう！払いに行かなくちゃ。」車をUターンして今来た道をまた戻ることになりました。着いた途端、お二人が私たちに気づき、「どうしたんだい。忘れ物かい。」と言われ、「そうです。忘れ物です。」と言って、ジュース代ですと支払いました。ビックリした顔があっという間に笑顔に変わり「日本人はすばらしい！」と大きな声でそこら中の人にうれしそうにその理由をお話していました。「良かった。日本人で。」とその時本当に思いました。

メサイド発電所に行く前に、「是非みんな日本人を意識して、恥ずかしくない態度で見学をしよう。」と話しました。見事子どもたちはそれ以上に日本人を誇りにそして意識して、見学してくれました。発電所の社長さんからもこの現地理解校外学習に携わって頂いた皆様からも、「日本学校の皆さんはとってもすばらしい。」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。

先週25日小学部3・4年生で社会科見学で出かけた消防署でも、子どもたちは立派な態度でした。消防署の方々もとても感心されていました。

おしらせ

■6月3日～4日スクールキャンプを行います。

恒例になっています「スクールキャンプ」を実施します。アイススケートをしたり、班長を中心に昼食・食事づくり、夜のキャンプファイヤーなどみんな楽しみにしているようです。怪我のないよう、十分に気をつけながら取り組んでいきたいと思っています。よろしく願いいたします。またかき氷器など物品でお世話になります皆様、心からお礼申し上げます。ご協力ありがとうございます。

【校長のひとり言】「努力をしている人は夢や希望を語り、怠けている人は不満を語る」

※「校長のひとり言」は自分自身の反省に立って、自分に言い聞かせるつもりで載せています。皆さんと共有できればと思っています。